

エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座
事例検討用フォーマット

症例(イニシャルで記入)		性別	年齢	病名	
		男・女	代		
【経過(簡潔に)】					
		内容	どのように強めるか	誰が	
苦 し み	解決できる苦しみ	・痛み ・療養場所 入院ではなく自宅で過ごすこと			
	解決できない苦しみ	・なんで、私がこんな目にあうのか ・もう治療がないと言われて、これからどうなるのか不安 ・弱い姿は見せたくない思い			
支 え	選ぶことができる自由	①療養場所	・家に帰り自宅で過ごすこと		
		②心が落ち着く環境(条件)	・痛み少なく過ごすこと ・主人や子ども達と一緒に過ごすこと		
		③尊厳	・主人と出会い、子ども達が生まれて、今までは、本当に幸せな人生 ・子ども達にも、ずっと生涯かけて、学び続けることを伝える ・人生で一番の学びは、人はいつも学び続けること		
		④希望	・主人や子ども達と一緒に過ごしたい ・子ども達の前では良い母親でいたい ・おいしい料理をつくってあげたい ・子ども達には、勉強も大切だけれど、まずは健康でいてほしい ・子供達には習っているスポーツは、続けてほしい		

		・部活の帰りに立ち寄った公園にも行ってみたい		
	⑤保清	・トイレの移動ができなかったら腕の良い介護の皆さんにお願いする		
	⑥役割	・母親らしいこと ・子ども達においしい料理をつくってあげること		
	⑦ゆだねる	・下のお世話を腕の良い介護の皆さんにお願いする		
	⑧栄養			
	⑨お金			
	支えとなる関係	・主人(優しくて、買い物を手伝ってくれたり、掃除やゴミ出しなど担当) ・子供達(治療中の支えとなっていた)		
将来の夢	・中学・高校時代の同級生に会いたい ・部活の帰りに立ち寄った公園にも行ってみたい ・向こうに逝っても、試合で活躍する姿を必ず大きな声で応援する			
援助者への支援(自らを含む)				
事例を通して学んだこと				

※「支え」として挙げた内容が重複する場合には、「誰が」「どのように強めるか」、具体的な方策をいずれの項目に記載してもかまいません。

※「エンドオブライフ・ケア援助士」認定のための課題レポート用のフォーマットはこれと同一となりますが、記載例などとあわせ、ホームページにログイン後、「マイページ」からダウンロードをお願いいたします。詳しくは[こちら](#)をご参照ください。